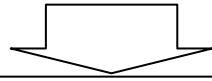


内部統制手法を活用した組織強化のための取組について

考え方

現状：内部統制に活用できる規則、事務要領などはかなりの程度整備されている



- ◆「徹底」と「最適化」がキーワード
- 【徹底】既に構築されている内部統制ツールが個々の職員まで徹底されているか？
- 【最適化】各所属での業務手法・ルールが社会状況の変化に適合する形になっているか？

(内部統制の取組で期待する効果)

- ・ 不祥事の減少
- ・ 組織マネジメントの向上・ガバナンスの強化
- ・ 業務改善・BPR

取組

各所属

(例) 現在の業務手法・ルールについて

- 洗出し、「見える化」(一覧化) → 組織内で共有
 - 時代・実態に合っているかどうかを確認、改定手続き
 - 不祥事例については、その防止策
- ※コンプライアンス等事前チェックチームを活用。

下支え

官房系

- 内部統制サイトの開設 (見える化)
 - ・ 内部統制ツール (規定類) を一覧化
 - ・ 11月19日開設
- 標語の作成 (気づき)
 - ・ 業務を行うに際しての「共通理念」となるもの
 - ⇒ 各職場に掲示

職員意識
の徹底

標語(案) ～信頼のための〇つの決意～

一、「何か変？」は、「どこか変！」

- ・ 「気がかり」があれば、見過ごさずに掘り下げて

二、「踏襲打破」の心意気

- ・ 固定概念に捉われない ・ 安易に前例踏襲の易きに流れない

三、小さなことでも「府民目線」

- ・ 至誠 ・ 公平・公正 ・ コスト意識 ・ 府民の信託に応える責任 ・ 府民満足度 ・ 迅速な対応 (スピード)

四、「縦・横・斜め」の活発なコミュニケーション

- ・ 風通しの良さ ・ 人の和 ・ 周りへの配慮・注意 ・ 「報・連・相」

五、根拠・手続きは、「確認、そして再確認」

- ・ 些細なミスで台無しにしてしまうこと、ルーチンでのミスが多い

六、自らがやるという「当事者意識」

- ・ 積極性 ・ 十分な努力 ・ 実践 ・ 責任の所在を明確に ・ 危機意識

七、過去から「学び」、失敗を「活かす」

八、「柔らかい頭」と「広い視野」

- ・ 進取の精神 ・ 広く意見を求める ・ 現場主義